

ハーモニーのおもしろさ
—三大学合同ゼミ京都合宿—

岡野内 正

<政策、現実、哲学>

合同ゼミ発表の第一弾は法政2年チーム。貧困対策としてのベーシック・インカムの有効性を主張する。東京の十大学合同セミナーで鍛えられたせいも、華麗なパワポのプレゼン。夏休み明けのどさくさで、わたしもあまり助言できず、ベーシック・インカムのメリット、デメリットとして、かなり重大な項目が羅列されているところなどは、やや詰めが甘い。それでも、それなりにインパクトはあったみたいで、おもしろい質問もいくつか。…続く日本経済大学中国留学生チーム。中国から日本への留学の動向、中国の不動産事情、中国の吉野家経営戦略、在留日本人からみたドイツ(これは日本の学生)など、ユニークな個人報告。問題の性質について十分に煮詰めているとはいえないが、当事者としての現場感覚がいきいきと伝わってくる場所がおもしろい。…そして、立命チーム全員がずらりと並んでの「豊かさ」の観念を問い直そうとする報告。学内ゼミ間での報告会で「疎外」の問題を報告した続きとかで、なかなかつつこみが深い。「そんなに反省してみたって、現実はどうすればいいかわからない」「そうはいってもやっぱりお金がないと困るのが現実」といった反応もあったが、それも含めて、豊かになったはずの経済発展した先進国での、あまりに貧しい現実と向き合うことのむずかしさを考え直すきっかけはなったかもしれない。…最後の法政3年チームのインド調査、ベーシック・インカム社会実験報告。…それまでの、政策、現実、哲学に関する問題提起をインドの現実を踏まえた政策の社会実験という形で議論できれば、すばらしい最終楽章になっただろうけど、これもやはり今一歩詰めが甘い。…とはいえ、とりあえず、いろんな花を咲かせてみた、という討論もありだろう。

最後の懇親会で、南野、安井両氏と、「それぞれのハーモニーがおもしろかったね、またやろう！」と盛り上がる。

<三大学合同！？>

昨年からはじめた立命南野ゼミとの合同合宿。今年は、ひょんなことから神戸の日本経済大学安井ゼミ(というか受講生有志の留学生たち)も参加することになり、ちょっぴり大げさに。…私はパートナー同伴で後半は失礼したが、みんなは衣笠キャンパス近くのユースホステルに泊まって翌朝は、立命の平和ミュージアム、そのあとコースに別れて観光も。…ちょっとしたハブニングもあったが、なんとか乗り切り、法政の面々は、そのあと数泊してさらに京都観光をしたものやら、関西の旅を満喫した模様。…スイスから直行してくれた安井氏、会場を確保してくれた南野氏と全体の運営にあたってくれた立命の学生たち、それに各ゼミの担当学生のみなさんに感謝です。…とにかく、こうい

う機会はとっても貴重なので、ダイナミックな形でこれが発展していけばいいなあ、と思っています。 (2013年10月15日)